

健康づくりに 関心を持つまちづくり

健康は人生の基盤です。人生100年時代となり、心身ともに豊かに暮らすには健康寿命を延ばすことが重要となります。「スポーツ健康都市宣言」のまちとして、市民一人ひとりが健康づくりに取り組み、明るく豊かで活力あるまちづくりを進めます。

●運動指導などの支援により、無理のない運動を習慣化することにより、健康を増進し、けがや病気の予防に対する取り組みを進めます

●多くの方が参加でき、楽しみながら生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを進めます

●新型コロナウイルス感染症に関して、各関係機関と連携を密にし、正確な情報を速やかに発信します



社会資産の 有効活用と新たな 公共的空間の整備

1970年代以降、集中的に整備された道路、橋りょう、公園などの社会資本ストックは老朽化が進み、適正に維持管理・更新することが求められています。「ワイズスペンディング(賢い支出)」の考え方を重視しつつ、生産性の向上や民間投資の誘発、雇用の増加などストック効果が最大限発揮されるような必要な社会資本整備を進め、市民の安全・安心、生活の質の向上につなげます。

●将来にわたり安全・安心な道路網の確保を目的とした整備と、花川南地区の舗装補修や道路橋長寿命化のための橋りょう補修を戦略的に実施します

●公園施設の長寿命化を図り、老朽化の著しい木製遊具の改築を優先して行いながら、安定した都市基盤の整備に努めます

●統廃合後の空校舎や用途廃止した公共施設について、地域住民との充分なコンセンサスを踏まえ、有効活用を視野に検討を進めます

●厚田区・浜益区の居住環境向上のため、民間企業が建設・運営するアパート整備を支援し、定住促進や地域の雇用環境の改善を図ります

●市内に点在する所有者不明の「危険な

空家」や「その予備軍」が立つ土地について、官民連携した事業スキームを確立し、建て替えを進めます

●更地化した土地またはリニューアルした空家の販売を行う事業者への補助制度を創設し、既存の移住・定住促進補助制度と併せ、全国に先駆けて「空家宝化プロジェクト事業」を取り進めます

1次産業の推進

わが国の1次産業は、働き手の高齢化や後継者不足が依然として深刻な状況にあり、本市においても農家数の減少と高齢化は確実に進み、抜本的な改革と担い手の確保は喫緊の課題となっています。次代を担う労働力の確保に努め、北海道市長会を通じ本道農林水産業の振興・体質強化に万全を期するよう引き続き要請を行います。

●新規就農者の積極的な受け入れに向け、農業協同組合と連携し、就農参入予定者の研修期間中の支援に取り組みます

●「第4期石狩市農業振興計画」に基づき、ICTを活用したスマート農業の推進を図り、さらなる農業発展と地域活性化を目指します

●漁業経営の安定化に向けた取り組みとして、水産物の鮮度向上と作業の効率化を図るため、自動施肥機器の導入を支援するなど、石狩湾漁業協同組合との連携を強化します



災害に強いまちづくり

事前防災・減災と、迅速な復旧・復興に資する施策を総合的・計画的に実施します。また、市民や本市を訪れる方々の生命と財産を守り、社会・経済活動を安全に営めるよう、国土強靱化基本法に基づき、強靱な地域づくりを推進する計画を策定し、本市のレジリエンスを高めます。

●災害対策上の重要な公共施設である市役所本庁舎の停電対策として、非常用自家発電装置の更新と燃料備蓄タンクの整備を行います

●指定緊急避難場所標識の更新や指定避難所の生活環境の向上に資する防災備蓄品の整備を進めます

令和2年度 当初予算の概要

問財政課 ☎72・3154

●いしかりの未来を担う「子ども施策」の充実

令和2年度予算は、子ども医療費助成の拡充や保育体制の充実など、「子ども・子育て施策」に重点を置いた予算を編成しました。そのほか福祉施設の人材確保など「地域福祉」の充実、高規格救急車の更新をはじめとした「消防力・防災力」の強化などにも注力しています。

また、基金を取り崩さずに収支バランスを確保するなど、将来世代への負担の軽減を図るとともに、健全な財政運営の維持に努めました。

会計別の予算規模



※1 国民健康保険事業、国民健康保険診療所、後期高齢者医療、介護保険事業、介護サービス事業、個別排水処理施設整備事業、土地取得の7会計。特定環境保全公共下水道事業は、令和2年度から公共下水道事業と統合

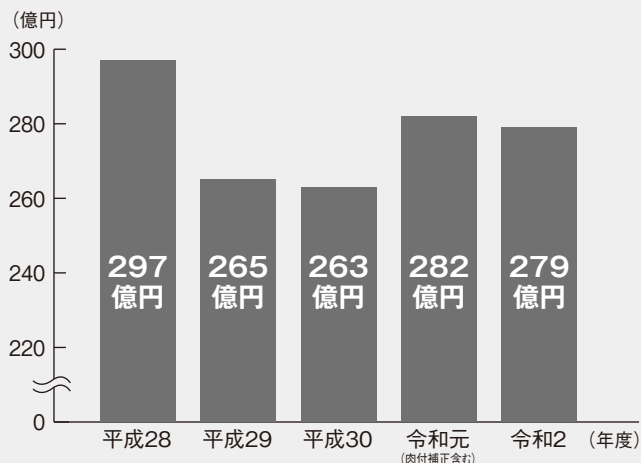
※2 水道事業、公共下水道事業の2会計

●一般会計予算額は前年度比マイナス1.3%

一般会計の予算額は約279億円で、前年度の7月補正(肉付補正)後の予算比1.3%の減となりました。

また、特別会計や企業会計を加えた総額では0.4%の増となりました。

一般会計予算規模の推移(当初予算)



詳しくは市HP「財政資料室(予算・決算)」をご覧ください。

- 災害に伴い発生する廃棄物は、適正かつ円滑・迅速に処理するため、国が定める指針に基づき、「災害廃棄物処理計画」を策定します
- 多様化・複雑化する災害への対応や市民の安心・安全を守るため、消防署に配備されている大型水槽車や、高規格救急自動車を更新・整備します
- 厚田地区をモデル地域として、集落におけるマイクログリッド(小規模なエネルギーネットワーク)を形成し、再エネの地産地消による、新たな電力供給モデルの構築について引き続き検討します

終わりに

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。本市でも、パラリンピック聖火の採火式を8月14日に行う予定です。この聖火リレーのコンセプトは「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」であり、社会の中で誰かの希望や支えとなっている光(人)が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力としよう、という想いを表現しています。

本市ではこれまで「石狩市手話に関する基本条例」を制定するなど、共生社会の構築に取り組んできました。昨年10月には「第10回ジャパンカップ・デフ・ソフトボール北海道大会」を開催し、会場にお越しいただいた多くの方が手話で交流する様子に、共生社会への確実な歩みを感じることができました。



て地域社会の中でおののが役割を果たし、共通の目標に向かって連携・協働すること、より良いまちづくりが実現すると考えています。待ち受けるさまざまな課題に関し、果敢に取り組み、市民の皆さまと持続可能な未来を築き上げたいと存じます。

※全文は市HPでご覧いただけます